

より「開かれた学校」を目指して

平成から令和へと時代が転換する節目の時に、27代校長として御船の地に赴任できたことを光栄に思っております。

本校は大正11年（1922年）に創立され、今年度で98年となります。去る4月8日に入学した生徒たちが3年生になる時、100周年を迎えます。

時代は変わっても、「天神の森」の学び舎は、可能性

豊かな若者と情熱ある教師の出会いの場であり続けます。ロボットをはじめものづくりの面白さを追求する電子機械科、音楽・美術・書道を通して感性を磨く芸術コース、幅広い学びの中から自らの進路と夢を探していく普通科。本校はテクノロジー（技術）とアート（芸術）の両翼をもつ総合力ある全日制高校として、新しい伝統を創っていきます。

そして、九州屈指の音楽大学「平成音楽大学」との連携、恐竜博物館はじめ文化・教育資源の豊富な御船町と連携して教育活動を展開していきます。本校の生徒たちが地域振興に積極的に貢献する一方、学校行事に大勢の町民の皆様が来校される「開かれた学校」を目指していきたいと思ひます。

これまででも、そしてこれからも、御船町と共に本校は歩んでいきます。

町民の皆様のご支援のほどを宜しくお願い申し上げます。



熊本県立御船高等学校
校長 栗谷 雅之



御船高校

NOW

〒861-3204
御船町木倉1253番地
☎ 282-0056
f a x 282-1286
e-mail
mifune-h@pref.kumamoto.lg.jp



イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 **kanri@town.mifune.lg.jp**

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。



ゆず さん



東 美子 さん



波佐間 美佳 さん

文芸

ひとひねり

短歌

年老いて買物出来ず週三回の移動販売に助けられおり
留守宅を守りいるがに白木蓮の花大木に今盛りなり
光りなき真つ赤な太陽西空へ静かに落ちゆく弥生の日暮
竹の子とこごみと茗荷と春野菜山女の天麩羅山家のごちそう
しろつめ草雀の鉄砲從えて畦の菜の花揺れて香れる
美貌持ちなぜに俯く水仙よ春の愁いを只にかくすか
福永久志子
山本志満子
奥田利恵子
甲斐レイ子
金森 英子
平野 文子

俳句

御船春菊句会 水野つとむ選

平成の世を肅々と別れ霜
奔放な蝶々に心追ひつかず
花過ぎて心安らぐ日なりけり
平成の御代は令和へ花は葉に
御蔭様生きながらへて昭和の日
惜春の居座つてゐる文机
緒方 栞
渡辺ケイ子
緒方 宣子
守田 律子
黒田 順子
さとうともこ

肥後狂句

天狗会

賢い人 嫁に合わせて打っ置かす
残り物 弁当箱のすきま埋め
雨の音 寝かせてくれんトタン屋根
揺り起こし 遅刻せんごつ急がする
とんちんかん 漫才になる老夫婦
窓明かり カーテン越し映る影
じっくりと 新茶は釜で焦げんごつ
米光 芙蓉
林田 実花
川部 呉穂
吉田 楽園
増永 笑和
藤本 好水
河地 由奇

肥後狂句

西木倉サロンげんぎ塾

やめとこう ひとの悪口罪作り
渡辺 令

口のすべって さがるさがるは人の株
口のすべって 言うてしもうた元の彼
まらいつと 母さん背たけがほしかった
まらいつと まらいつとねざりおる
口のすべって 冗談たいとごまかさす
口のすべって 地位も名誉もぶち壊し
口のすべって 息子の離婚ばれたした
口のすべって いらん事まできやあ言わす
やめとこう くわしい話は会うてかる
見てごらん 孫と遊んでボケ防止
口のすべって 仲よか二人もまかした
口のすべって あとのつくろい一苦労
コンドーです
さとうきびこ
門前川はたる
フジタスミレ
米光 芙蓉
大川狂さく
赤いトマト
坂本ラクチン
河地みっちゃん
坂本ホテル
渡邊はるか
佐藤 錦

一般投稿

雲低く夕暮れ迫るグラウンドに疾風は散らす桜花びら
地震の日の若葉の緑はこんなにも美しかったのか、四月十四日
亡き叔父の形見となれる古時計逝く刻愛しみ今日も螺子巻く
つくし摘み卵とじて思い出す友と遊んだ遠き日のこと
梅干し一つ食の共その故なるか医者くすりいらす
西梅 芳久
西梅 孝子
常石 訓弘
石坂 貞子
松岡フミエ